

# 重量感知式コーヒーグラインダー HAKARU

## 取扱説明書

### もくじ

- 安全にお使いいただくために ..... P.2
- セット内容・各部名称 ..... P.3
- ご使用前に ..... P.4
- ご使用方法 ..... P.5~6
- お手入れ方法 ..... P.7
- 美味しいコーヒーを淹れるポイント..... P.8
- 故障かな？と思ったら ..... P.9
- 製品仕様 ..... P.10
- 保証書 ..... P.11

**家庭用**  
(業務用として使用しないでください)



最新情報は弊社公式サイトよりご確認ください。  
<https://www.lithon.co.jp/product/cooking/kdcf003>



LITHON

[lithon.co.jp](http://lithon.co.jp)



【ライソン公式サイト】  
ライソン製品のご紹介や新着情報を更新中！  
ありきたりな日常にワクワクするような非日常を



LITHON

STORE  
[lithon-store.com](http://lithon-store.com)



【ライソン公式オンラインショップ】  
ライソンの人気製品が勢揃い！  
簡単レシピやお役立ち情報もご紹介

フォローをお願いします！



Twitter



製品情報・プレゼントキャンペーンなど随時更新中！

チャンネル登録をお願いします！

LITHON  
channel



製品の使い方・使用イメージ  
動画など随時更新・配信中！

友だち登録をお願いします！



ライソン  
LINE公式アカウント



新製品紹介やキャンペーンの告知、  
友だち限定の情報をお届け！

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。  
この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

## 安全にお使いいただくために

本製品は家庭用製品です。業務用ではご使用にならないください。

### ご使用前に必ずお読みください。

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

### 警告

この表示は、内容を無視し間違った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険性の高い内容を示しています。

- 使用中、プラグや電源コードが異常に熱くなったり、本体から煙や異常なお臭が出るようなときは、直ちに使用を中止して、弊社「お客様サービスセンター」にお問い合わせください。  
\*傷んだプラグやコードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
- 分解・改造は絶対にしないでください。また販売元以外による修理はしないでください。\*感電、ショート、発火の原因になります。
- 交流100V、定格15A以上、コンセントは単独で使用してください。(交流100V以外では使用しないでください。)\*火災、感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントに正しくしっかりと奥まで差し込んでください。\*感電、ショート、発火の原因になります。
- コンセント部分に水や埃などがつかないようにしてください。\*感電、ショートの原因があります。
- 本体を水に浸けたり、本体を丸洗いをしないでください。\*感電、ショート、製品故障の原因になります。
- 子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところに置かないでください。\*火傷、感電、ケガを負う可能性があります。
- 電源コードに対して以下の行為はしないでください。  
・曲げる ・ねじる ・引っ張る ・束ねたまま使用する ・何かを上に載せる ・加工する \*感電、ショート、発火の原因になります。
- コンセントは二股以上の配線で使用しないでください。\*電力を超えた使用は、コンセント部分の発熱、発火の原因になります。
- 本体のお手入れは、コンセントから電源プラグを抜いてからおこなってください。  
\*火傷、感電、ケガを負う可能性があります。

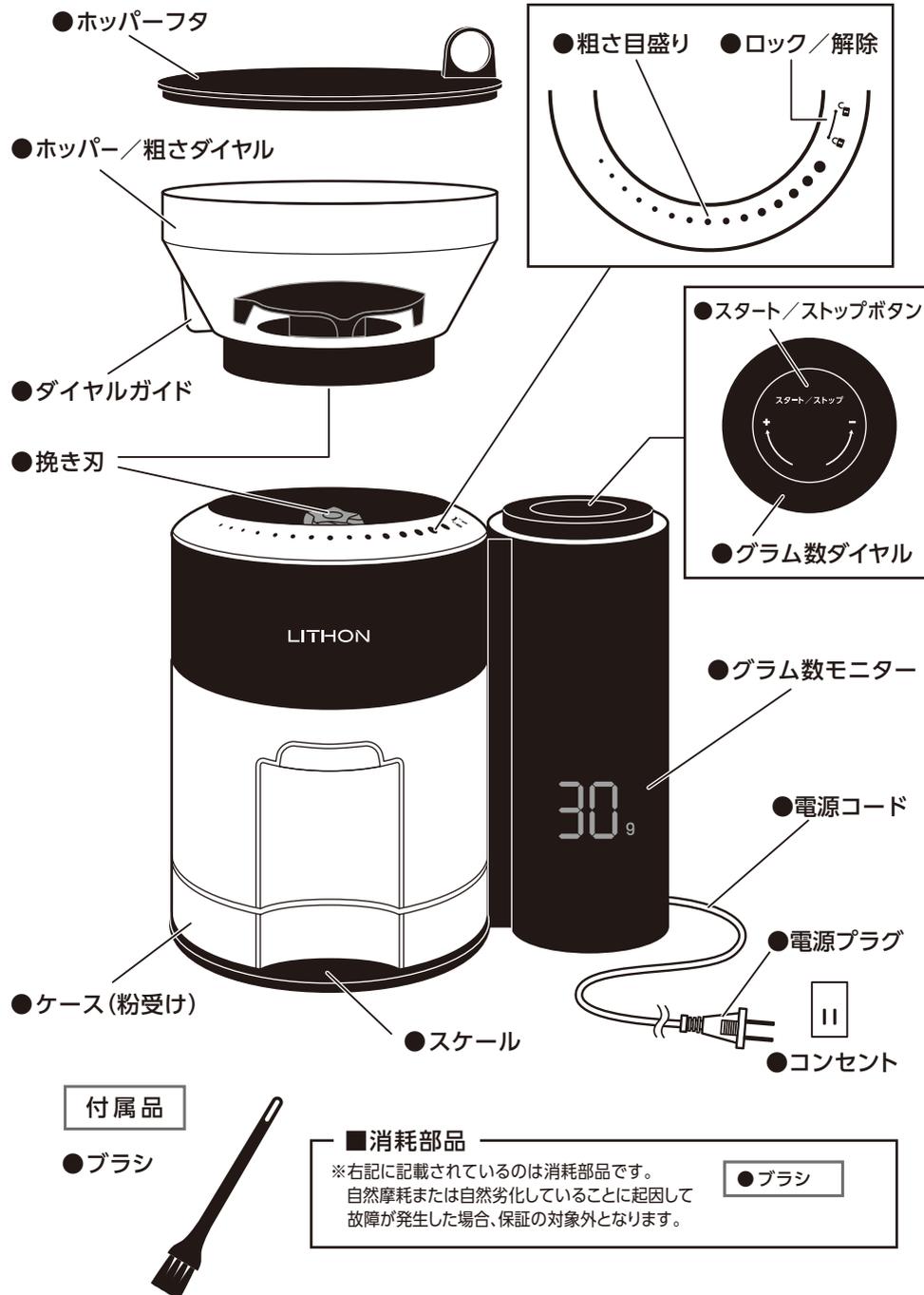
### 注意

この表示は、内容を無視すると対人的に障害を負ったり、対物的に損害の発生が想定される内容を示しています。

- 不安定な場所で使用しないでください。\*火災の原因になります。
- 屋外、水や蒸気のかかる場所、火気の近くでは使用しないでください。\*感電、ショート、製品故障の原因になります。
- 粉碎するコーヒー豆は焙煎豆だけをご使用ください。\*製品故障の原因になります。
- ホッパーフタ・ホッパー・ケース(粉受け)が確実にセットされていることを確認してから、電源を入れてください。
- 使用中は製品を動かしたり、ホッパーフタを開ける、ケース(粉受け)を取り出すなどしないでください。  
\*ケガの原因になります。
- 使用中は絶対に製品から離れないでください。
- 直射日光のあたる場所では使用しないでください。\*発火、製品故障の原因になります。
- 使用後は、スイッチをOFFにし電源プラグを抜き、本体が冷めたことを十分に確認したらうで手入れをし、収納してください。\*火傷の原因になります。
- 使用時以外は電源プラグはコンセントから抜いてください。\*ケガや火傷、漏電の原因になります。
- お手入れにベンジン、シンナー系の溶剤は使用しないでください。\*製品の変色、変形、故障の原因になります。
- 使用後の保管は、お子様の手の届く場所で保管しないでください。\*思わぬ事故、ケガの原因になります。
- 誤った使用方法で取り扱わないでください。
- コーヒー豆を挽く目的以外では使用しないでください。
- 本体に異常が発生した場合は、ただちに使用を中止してください。

※誤った使用方法で発生するすべての事柄に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

## セット内容・各部名称



## ご使用前に

- ホッパーフタ・ホッパー・ケース(粉受け)を乾いた清潔な布で拭いてください。
- 挽き刃の間や、コーヒー粉の排出口に異物がないか確認してください。
- 本体は平らで安定した場所に設置してください。
- 粉砕するコーヒー豆は焙煎豆だけをご使用ください。
- 豆にチャフなどが混入していないかご確認ください。つまりの原因になります。

## ホッパーの取り付け・取り外し

### ●ホッパーを取り付ける

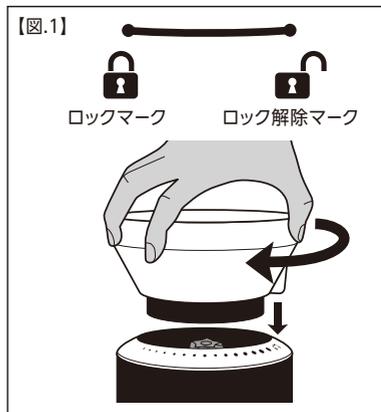
ダイヤルガイドをロック解除マークに合わせてホッパーを本体にセットし、ダイヤルガイドがロックマークより左側になるまで時計回りに回して取り付けます。【図.1】

### ●ホッパーを取り外す

ダイヤルガイドがロック解除マークに合うまでホッパーを反時計回りに回して取り外します。

※必ずダイヤルガイドと本体のロック解除マークの位置を合わせた状態で取り付け・取り外しをおこなってください。(製品破損の原因になります)

※ホッパーは押さえながら回すと、取り外し・取り付けしやすくなります。



## 1度に最大60gのコーヒー豆を挽くことができます。

- ホッパーに1度に入れるコーヒー豆の最大投入量は約200gです。

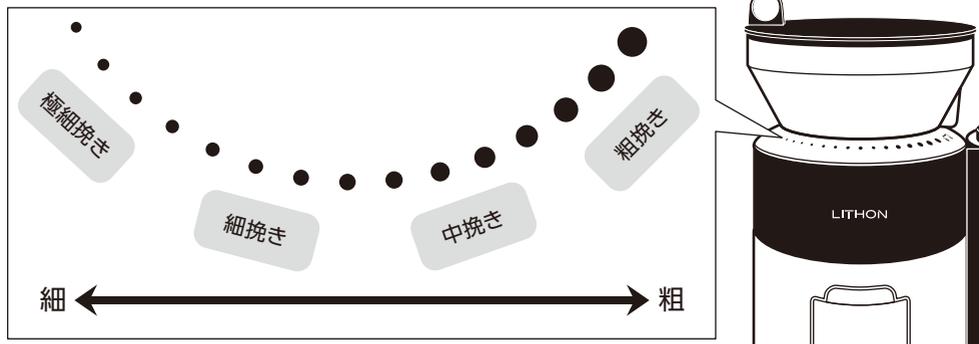
【図.2】

- コーヒー1杯分のコーヒー豆の量は、お好みで調節してください。



## 「粗さ目盛り」について

- 挽き目の粒度調節はホッパーを回して、ダイヤルガイドをお好みの粗さの目盛りに合わせます。
- 左端に合わせると1番細かい挽き目になり、右に行くほど粗くなります。
- コーヒーの淹れ方などお好みに合わせて挽き目を変えてください。



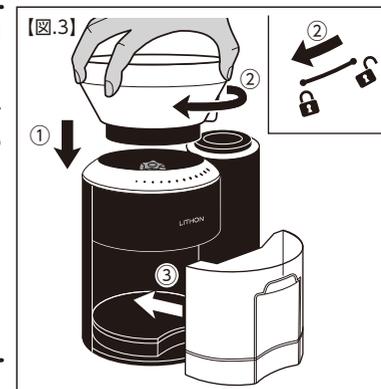
## ご使用方法

### 1. ホッパーとケース(粉受け)を本体に取り付ける

P.4【ホッパーの取り付け・取り外し】を参考にホッパーを取り付け、ダイヤルガイドがロックマークより左側になるまで時計回りに回します。

ケース(粉受け)を本体に取り付けます。【図.3】

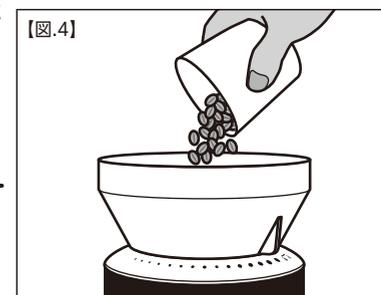
※ホッパーがロックされないと、電源が入りません。



### 2. ホッパーにコーヒー豆を入れる

ホッパーにコーヒー豆を入れ、ホッパーフタをホッパーにしっかり取り付けます。【図.4】

※コーヒー豆の最大投入量は約200gです。



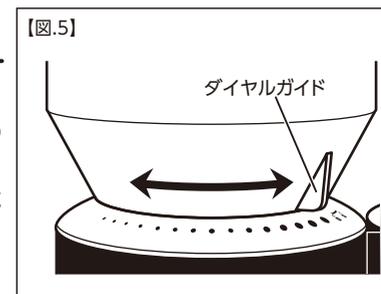
### 3. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。

### 4. ホッパーを回して挽き目の粒度を設定する

ホッパーを回して、ダイヤルガイドをお好みの粗さの目盛りに合わせます。【図.5】

※挽き目の粒度調節についてはP.4【「粗さ目盛り」について】をご参照ください。

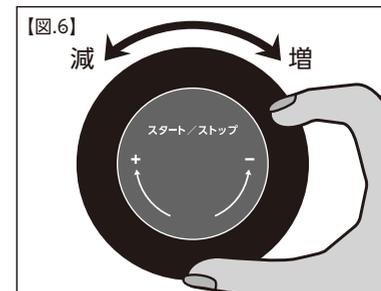


### 5. グラム数ダイヤルを回し、コーヒー豆を挽く量(g)を設定する

グラム数ダイヤルを回すとグラム数モニターの数字が増減するので、挽きたい量のグラム数に合わせます。【図.6】

※1度に挽けるコーヒー豆の最大量は約60gです。5~60gの間で1g単位で設定できます。

※2回目以降に使用する場合は、前回の設定g数が最初に表示されます。



## ご使用方法 (つづき)

### 6. スタート/ストップボタンを押してコーヒー豆を挽く

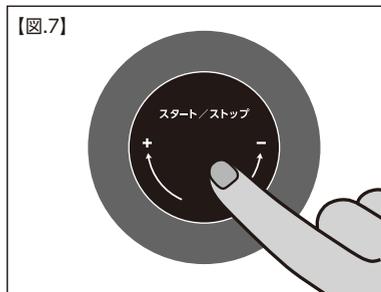
スタート/ストップボタンを押すとコーヒー豆を挽き始めます。

途中で止めたい時は再度スタート/ストップボタンを押します。【図.7】

※挽く前にケース(粉受け)を必ずセットしてください。

※コーヒー豆が足りない場合はピープ音が約10秒鳴ります。

【図.7】



#### スタート/ストップボタン操作

ワンクリック：スタート、一時停止

ダブルクリック：リセット

#### 途中で豆がなくなった場合(豆が設定より少なかった場合)

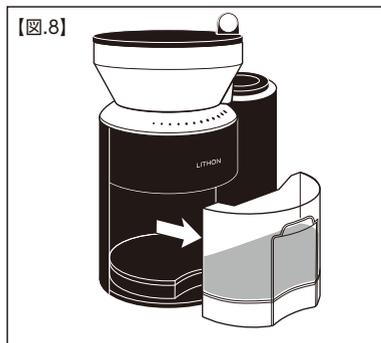
- ① 豆がなくなったら、5秒間空運転になります。
- ② 空運転後、10秒間ピープ音が鳴ります。(グラム数モニターの数字が同時に点滅)
- ③ ピープ音がなった後、3分間一時停止します。(グラム数モニターの数字が同時に点滅)
  - ・3分間の間にワンクリック → 途中から開始
  - ・3分間の間にダブルクリック → リセット
  - ・3分間何も操作されない場合 → リセット

### 7. ケース(粉受け)を取り出す

ケース(粉受け)を取り出します。【図.8】

※ 静電気などでコーヒー粉が本体に付着したり、飛び散ったりする場合がありますので、ご注意ください。

【図.8】

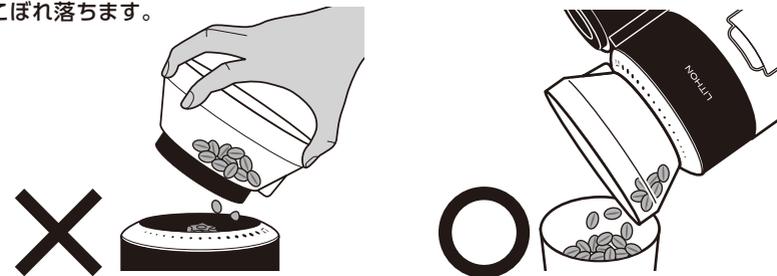


## お手入れ方法

### ホッパーに残ったコーヒー豆を取り出す場合

ホッパーフタを取り外し、ホッパーを取り付けた状態で本体を傾けてコーヒー豆を取り出してください。

ホッパーには底がないため、コーヒー豆を入れた状態でホッパーを取り外すとコーヒー豆がこぼれ落ちます。



- 必ず電源プラグを抜いてからお手入れしてください。
- 食器洗い機や食器乾燥機などは使用しないでください。
- たわし、金ブラシ、研磨スポンジ、ワイヤーワール、などは使用しないでください。
- ブラシで掃除するときはティッシュや紙などを敷いてください。

### ■ 上部の挽き刃・下部の挽き刃・ホッパー

※洗えない

- ① P.4【ホッパーの取り付け・取り外し】を参考にホッパーを取り外します。
- ② 付属のブラシで上部(ホッパー側)の挽き刃と下部(本体側)の挽き刃を掃除します。
- ③ ホッパーのプラスチック部分は固く絞った濡れ布巾で拭き、よく乾燥させます。

### ■ 本体

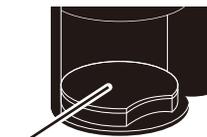
※洗えない

固く絞った濡れ布巾で拭きます。

ひどい汚れは、少量の食器用中性洗剤をつけた布で拭き、その後、固く絞った濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

また、排出口およびケース(粉受け)の挿入部は、粉がたまりやすくなっています。使用後は毎回ブラシ等でコーヒー粉を払い落としてください。

※粉受け部の上(スケール)を拭くときは、強く衝撃を与えないよう優しく拭いてください。

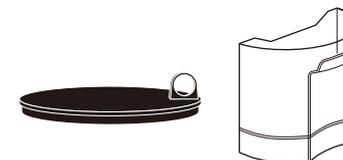


### ■ ホッパーフタ・ケース(粉受け)

※洗える

食器用中性洗剤と柔らかいスポンジで水洗いします。

※よく乾燥させてから本体に取りつけてください。



## 美味しいコーヒーを淹れるポイント

抽出方法を工夫することでコーヒーの味は変化します。  
お好みの味わいを見つけ、美味しいコーヒーをお楽しみください。

### 濃さを調節したいとき

調節すること	濃くしたい ←	薄くしたい →
コーヒー粉の量	増やす	減らす
お湯の量	減らす	増やす
コーヒー豆の挽き目	細挽き	粗挽き
抽出スピード	時間をかけて抽出	早く抽出
お湯の温度	上げる	下げる

### 苦味や酸味を調節したいとき

調節すること	苦味を抑えたい	酸味を抑えたい
コーヒー粉の量	増やす ※1	減らす
お湯の量	減らす ※1	増やす
コーヒー豆の挽き目	粗挽き	細挽き ※2
抽出スピード	早く抽出	時間をかけて抽出
お湯の温度	下げる	上げる

※1 過抽出を防ぎ、渋みのある苦味が出づらい状態にします。

※2 苦味を増やしてバランスを調節します。

### 抽出時の味が出てくる順番

#### 1. 酸味 ▶▶▶ 2. 心地の良い苦味 ▶▶▶ 3. 渋みのある苦味

酸味を調節するのは難しいので、苦味を調節してバランスをとります。

3.の苦味が出る前に抽出を終わらせると、すっきりした味わいのコーヒーになります。

## 故障かな？と思ったら

### 修理を依頼される前にご確認ください

- 下記の場合、故障ではなく再確認いただくことで、問題が解消する場合があります。
- それでも問題が解消しない場合はただちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。安全を確認したうえで弊社「お客様サービスセンター」にご相談ください。
- ご家庭での修理・分解は絶対におこなわないでください。

問題事例	再確認するところ	問題解消の方法
ホッパー、ケース(粉受け)が取り付けられない	取り付け部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか？	ブラシで取り除いてから取り付けてください。
電源が入らない 動作しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。
	ホッパーが本体にきちんとセットされていますか？	P.4【ホッパーの取り付け・取り外し】を確認しダイヤルガイドがロックマークより左側になるまで時計回りに回してセットしてください。
電源プラグが異常に熱い	コンセントの差し込みがゆるくなっていますか？	製品本体または、コンセントに問題があります。使用を中止し、弊社「お客様サービスセンター」までご相談ください。
使用中に止まる	定格時間を超過して使用していませんか？	本体が冷めるまでしばらく待ってから使用してください。
ケース(粉受け)から コーヒー粉が溢れる	ケース(粉受け)に前回挽いたコーヒー粉が残っていませんか？	P.7を確認してしっかりお手入れしてください。
	ケース(粉受け)が奥までセットされていますか？	ケース(粉受け)を奥まで入れてセットしてください。

## 製品仕様

製品名	重量感知式コーヒーグラインダー HAKARU
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	120W
定格時間	70秒
サイズ	約 W205 × D130 × H285 mm
質量	約2.1kg
ホッパー容量	200g
ケース容量	60g (一度に挽ける量)
挽き目時間目安	中挽き:30秒 極細挽き:60秒 ※1
電源コード	約1.4m
セット内容	本体、ブラシ
材質	本体:ABS、PPA、PP ブラシ:PP 挽き刃:ステンレス

※1 コーヒー豆60gを挽いた場合。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

## 保証書

(キリトリ)

### 保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

製品コード	KDCF-003	製品名	重量感知式コーヒーグラインダー HAKARU
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：1年間
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
※販売店	住所・店名		
	電話番号		

店舗印

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

**販売店さまへ** ※印欄は必ず記入 (もしくは押印) してください。

### 保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外となります。
  - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
  - お客様の過失・不注意 (使用上の誤り、製品をぶつけたり落下等による強い衝撃を与えるなど) による故障及び損傷
  - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していること起因して故障が発生した場合
  - 火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
  - 本書の掲示がない場合
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  - 他人へ譲渡した場合
  - 正規販売ルート以外で購入した場合
- レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

発売元 **ライソン株式会社** 〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

お客様サービスセンター

TEL **06-6789-1199**  
〔月～金 (祝日除く) 10時～16時〕

WEBからの修理・交換の  
お問い合わせはこちら



(キリトリ)